

J
Japan
Cardiovascular
Research
Foundation
CRF
2015
11
vol.4

財 団 季 報



公益財団法人
循環器病研究振興財団
Japan Cardiovascular Research Foundation

一糖尿病も循環器病の大敵一

公益財団法人循環器病研究振興財団
理事長 山口 武典



今年も恒例の循環器病チャリティゴルフが、素晴らしい秋晴れの下で開催されました。このチャリティゴルフは、1988年に当時の国立循環器病センター総長曲直部寿夫先生と読売テレビ放送青山行男会長の音頭取りで始まったもので、今年で既に28回を迎えました。毎年10月の第一土曜日に開催されていますが、これまで雨に降られたことはわずかに1回、それもばらばらと降っただけで、残り27回は好天に恵まれています。参加者の皆様の精進の賜物と感謝しています。皆様のご好意により、今年も多額の浄財を財団にご寄付頂きました。この資金は一般市民の方々の啓発のための小冊子「循環器病あれこれ」の制作、発刊に当てさせていただきます。

表彰式当日には、国立循環器病研究センターの専門家による講話が毎年行われていますが、今年は「コレステロールと循環器病」についての大変有意義かつ興味ある話を聴かせて頂きました。循環器病の危険因子である高血圧、高コレステロール血症（脂質異常症）についての話は、既に聞かせて貰っていますので、ここではもう一つの極めて重要な危険因子である糖尿病について触れてみたいと思います。

糖尿病は「美味しいものをよく食べる金持ちに起こる贅沢病」だと昔は言われていました。記録に残る糖尿病患者の第一号は平安貴族の藤原道長（966 - 1027）とのことで、その症状は「日夜を問わず水

を飲み、口は乾いて力無し、但し食が減ぜず」と記載されているようです。

実際、糖尿病は食糧事情の悪かった太平洋戦争中には減少しています。戦後、食事の西欧化とバブル期の飽食の時代を経て、この40年で患者数は50倍近くになっていると言われています。糖尿病があると動脈硬化が進行しやすいだけでなく、網膜症や白内障、腎臓病、末梢神経障害を起こしやすい厄介な病気です。詳しいことは「循環器病あれこれ」106号をお読みください。糖尿病は薬を飲みさえすれば良くなるものではなく、改善には毎日の食事（摂取カロリー）と適度な運動が重要な役割を果たします。

最近、福岡県糖尿病データベース研究の成果として、①食べるのが早い人は肥満が2倍多い、②食物繊維を多く取る人はメタボが半分、③毎日焼酎1合で高血圧が3倍増加、④2型糖尿病ではうつ症状が2.6倍、⑤睡眠時間が長過ぎても、短くても血糖コントロールは悪くなる、⑥速足の散歩で血糖コントロールは明らかに改善、など興味ある成績が報告されました。

生活習慣病にならないためには、5つの「過ぎ」に注意しましょう、と私はかねがね話していますが、上の成果はその一部を表しているように思いました。5つの過ぎとは、①食べ過ぎ②飲み過ぎ③吸い過ぎ④働き過ぎ⑤怠け過ぎです。

表紙：動脈・静脈・リンパ管の3つの脈管を表す3本の線が、中心に1本、右に1本、後ろに1本、三本の線で配置され、柔軟で健康的な流れと、躍動的に活動する体を表現しました。楕円を斜めに配置することで、爽やかな勢いを表しています。

平成 27 年度事業計画書

【1】助成事業

(578,795 千円)

1. 公募研究助成

(11,800 千円)

	助 成 名	研 究 テ ー マ	助成交付額
1	バイエル循環器病研究助成	動脈疾患と抗凝固療法	@5,000 千円×1 課題=5,000 千円 @2,500 千円×2 課題=5,000 千円
2	循環器疾患看護研究助成	(自由)	@200 千円×5 課題=1,000 千円
3	日本光電循環器病研究助成	①医療現場における安全管理 ②モニタのバイタルサイン管理における安全管理 ③人工呼吸器における安全管理	@200 千円×4 課題=800 千円

2. 指定研究助成

(147,995 千円)

(個別研究)

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	助成交付額
1	血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 2,500 千円 H28 終了予定
2	メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究	宮本恵宏	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長	(継続) 5,000 千円 H30 終了予定
3	和食の脳保護・脳精神機能改善、及び、肥満・糖脂質代謝へ与える効果の検討	柳本広二	国立循環器病研究センター研究所 分子病態部疾患分子研究室 室長	(継続) 6,650 千円 H29 終了予定
4	心房細動を合併する僧帽弁弁膜症患者に対する低侵襲手術の臨床試験	小林順二郎	国立循環器病研究センター 副院長	(継続) 4,600 千円 H28 終了予定
5	大動脈手術に関する感染症の検討	湊谷謙司	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門血管外科 部長	(継続) 1,425 千円 H28 終了予定

(多施設共同研究)

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	助成交付額
6	電子血圧計を用いた客観的な高血圧治療に関する研究 (HOMED-BP)	今井 潤	東北大学大学院薬学研究科 医薬開発構想寄附講座 教授	(継続) 1,600 千円 H28 終了予定
7	虚血性心疾患における心電図同期 SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究 (J-ACCESS)	西村恒彦	京都府立医科大学 特任 (名誉) 教授	(継続) 36,500 千円 H28 終了予定
8	本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究 (MAGIC 研究) 一心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として	池田康夫	早稲田大学理工学術院 先進理工学部生命医科学科 教授	(継続) 6,000 千円 H28 終了予定
9	急性脳血管症候群登録観察研究 (ACVS registry Study)	内山真一郎	山王病院・山王メディカルセンター 脳血管センター長	(継続) 26,000 千円 H28 終了予定
10	急性期脳出血への降圧を検討する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化臨床試験 (ATACH-II)	豊田一則	国立循環器病研究センター 脳血管部門脳血管内科 部長	(継続) 45,000 千円 H28 終了予定
11	様々な心血管疾患における酸化ストレスの関与に関する基礎および包括的大規模臨床検討	小川久雄	一般財団法人熊本循環器学会 理事長	(継続) 5,000 千円 H28 終了予定
12	アログリブチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPEAD-A)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 4,010 千円 H33 終了予定
13	シタグリブチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPIKE study)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 3,710 千円 H34 終了予定

3. 受託契約研究助成

(414,000 千円)

(多施設共同研究)

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	助成交付額
1	アジア人における慢性心不全患者の心臓突然死発生率および危険因子に関する疫学的臨床研究 (ASIAN-HF)	清水 渉	日本医科大学 内科学 主任教授	(継続) 7,000 千円 H30 終了予定
2	脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板薬併用療法の有効性及び安全性の検討 (CSPS.com)	山口武典	国立循環器病研究センター 名誉総長	(継続) 229,000 千円 H30 終了予定

3	非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/TIA におけるリパーロキサパンの投与開始時期に関する観察研究 (RELAXED)	峰松一夫	循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員会・選考委員/国立循環器病研究センター・副院長	(継続) 162,000千円 H29終了予定
---	---	------	--	------------------------------

(個別研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成交付額
4	定量 SPECT 機能画像計算パッケージの医療機器化と一般病院への提供支援	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 16,000 千円 H30終了予定

4. 研究者・研修者助成

(5,000千円)

	助成名	助成内容	助成交付額
1	国内外研修派遣助成	国内外において実施される効率的な研修に派遣される医療技術者に対する助成	3,000千円
2	国際協同研究等派遣助成	海外で開催される学会・協同研究等に派遣される研究者に対する助成	2,000千円

【2】普及支援事業

(22,900千円)

1. 研究業績発表

(2,100千円)

- (1) 研究業績集の発行 (130千円)
前年度に実施した研究助成(指定研究助成・循環器疾患看護研究助成)の研究成果をまとめ、国立病院・大学・研究所等へ配布する。
- (2) 研究発表会の開催 (1,970千円)
研究発表会を開催し、前年度に実施した研究助成の研究成果を発表する。
①「バイエル循環器病研究助成」研究発表会
②「循環器疾患看護研究助成」研究発表会
③「日本光電循環器病研究助成」研究発表会

2. 学術活動支援

(9,500千円)

循環器病に関する小規模研究、セミナー等に対する支援

3. 移植医療支援

(2,000千円)

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援(アグネス基金)

4. 予防啓発活動

(9,300千円)

- (1) 小冊子 (8,550千円)

『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行

循環器病予防啓発の小冊子を奇数月にそれぞれ1万部発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布(知っておきたい循環器病あれこれ発行予定)

	タイトル	執筆者	発行予定日
110	塩と血圧	河野雄平 国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科部長	平成27年5月1日
111	命取りになる不整脈	鎌倉史郎 国立循環器病研究センター 心臓血管内科不整脈科部長	平成27年7月1日
112	言語障害の治し方	大島明子 国立循環器病研究センター 言語聴覚士	平成27年9月1日
113	かるしおレシピ	村井一人 国立循環器病研究センター 栄養管理室長	平成27年11月1日
114	脳出血 最近の動向	吉村杜平 国立循環器病研究センター 脳神経内科医師	平成28年1月1日
115	肺炎の話	佐田 誠 国立循環器病研究センター 感染対策室医長	平成28年3月1日

- (2) 機関誌『季報』の発行 (350千円)
循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開など
- (3) ホームページサービス事業 (http://www.jcvrf.jp/) (320千円)
循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募など
- (4) 市民講座 (80千円)
疾患ごとにテーマを決め、一般市民を対象に循環器病予防に関する知識の普及および啓発のために講座を開催
- (5) キャンペーン
阪神甲子園球場において財団PRと予防啓発

(6) 共催名義使用

- ①第18回脳卒中市民シンポジウムおよび平成27年度脳卒中週間ポスター事業
 【主催】公益社団法人日本脳卒中協会

【3】国庫補助金事業（特別会計Ⅰ）

(8,550千円)

(厚生労働科学研究推進事業費／循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策政策研究推進事業)

事業区分	予算額	積算内訳
1 若手研究者育成活用事業	4,000千円	リサーチレジデント1名
2 研究成果等普及啓発事業	4,550千円	研究者向け研究発表会・一般向け研究発表会

【4】調査研究事業

(743,657千円)

研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費
1 安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリパーロキサパン単剤療法に関する臨床研究(AFIRE)	小川久雄	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考・委員／国立循環器病研究センター・副院長	(継続) 340,500千円 H30 終了予定
2 日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR)	安田 聡	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 部門長	(新規) 55,937千円 H31 終了予定
3 実地医家を対象とした非弁膜症性心房細動患者の脳卒中および全身性塞栓症に対するリパーロキサパンの有効性と安全性に関する登録観察研究(GENERAL)	小川久雄	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員／国立循環器病研究センター副院長	(新規) 347,220千円 H31 終了予定

※事業収入（受託研究）の収益及び費用の認識基準について

研究の終了（最終報告書の提出）をもって収益及び費用を認識する完成基準を適用する。そのため、研究が完了するまでの収入は「受託研究前受金」、費用は「未成受託研究支出金」として計上する。

平成26年度事業報告書

平成26年度においては、助成事業、普及支援事業、国庫補助金事業、調査研究事業の4分野の事業を行った。

【1】助成事業

(429,426千円)

1. 公募研究助成

(11,900千円)

- (1) バイエル循環器病研究助成

(10,000千円)

【研究テーマ】深部静脈血栓症

【応募数：18課題】

研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1 静脈における凝固因子分泌と深部静脈血栓症	竹藤幹人	名古屋大学医学部附属病院 循環器内科 病院助教	2,500千円
2 遺伝子改変血栓症モデルマウスを用いた深部静脈血栓症の病態解析と新規治療法の開発	坂野史明	国立循環器病研究センター 分子病態部 研究員	2,500千円
3 低用量ピルとプロテインS抗原量・活性及び遺伝子変異に関する研究	三好剛一	国立循環器病研究センター 周産期・婦人科部 医師	2,500千円
4 脊椎手術における静脈血栓症の実態と早期診断方法に関する研究	吉岡克人	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 先進運動器医療創成講座 特任助教	2,500千円

＜研究発表会開催予定＞ 平成27年10月30日（金）（第56回日本脈管学会総会内）

- (2) 循環器疾患看護研究助成

(1,000千円)

【応募数：7課題】

研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1 先天性心疾患の出生前診断を受けた子どもに対する母親の気持ち—妊娠中から産後にかけて経時的な変化とその契機—	丸山暁子	東京大学大学院医学系保健科学 看護学専攻 家族看護学分野 大学院生	200千円
2 集中治療室の看護師における薬剤に関する安全確認行動の実態—点滴管理行動の機能的分析による検証—	山田利恵	三菱京都病院 集中治療室 看護師長	200千円

3	慢性心不全患者のセルフケア行動と家族サポートに関する研究	黒田裕美	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 助教	200 千円
4	虚血性心疾患患者の適正な生活指導に関する調査研究	吉川智章	国立循環器病研究センター 看護部 看護師	200 千円
5	急性心筋梗塞患者の急性期における排便が心事故に与える影響についての調査	池田美香	国立循環器病研究センター CCU 看護師	200 千円

《研究発表会開催予定》 平成 27 年 12 月頃（国立循環器病研究センター内）

(3) 日本光電循環器病研究助成 (900 千円)

【研究テーマ】 ①モニタのバイタルサイン管理における安全管理、②人工呼吸器における安全管理
③モニタとナースコール連携における安全管理

[応募数：5 課題]

研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1 血液浄化装置の遠隔監視システムの開発および構築	湊 拓巳	大阪医療センター 医療技術部 臨床工学室 臨床工学技士	300 千円
2 ペースメーカ植え込み術を受けた患者が退院後一か月間に感じている QOL に与える影響要因	清水奈々	国立循環器病研究センター 看護部 7 階東病棟 看護師	300 千円
3 人工呼吸器を装着した重症心不全患者に対する早期離床・リハビリテーションプログラムに関するパイロット研究	玉城雄也	国立循環器病研究センター CCU 病棟 看護師	300 千円

《研究発表会開催予定》 平成 27 年 12 月頃（国立循環器病研究センター内）

2. 指定研究助成

(137,386 千円)

(個別研究) 11 課題

研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成交付額
1 血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	2,000 千円 H28 終了予定
2 メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究	宮本恵宏	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長	950 千円 H30 終了予定
3 致死性不整脈の病態とその治療法および抗不整脈の薬剤反応性に関する研究	鎌倉史郎	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門不整脈科 部長	875 千円 助成終了
4 和食の脳保護・脳精神機能改善、及び、肥満・糖脂質代謝へ与える効果の検討	柳本広二	国立循環器病研究センター研究所 分子病態部疾患分子研究室 室長	3,000 千円 H29 終了予定
5 二管球搭載型マルチスライス CT・320 列マルチスライス CT を用いた心筋灌流評価法の検討	内藤博昭	国立循環器病研究センター 病院長	1,200 千円 助成終了
6 脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	湊谷謙司	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門血管外科 部長	915 千円 終了予定
7 心不全に対するレスベラトロールの効果に関する研究	安斉俊久	国立循環器病研究センター 心臓血管内科 部長	1,425 千円 助成終了
8 脳卒中および認知症の機序の解明と新しい治療戦略の開発	光山勝慶	熊本大学大学院生命科学研究部 生体機能薬理学 教授	6,650 千円 助成終了
9 AESCULON（非侵襲心拍出量モニター）を用いた脳心血管疾患合併維持透析患者の透析条件と血圧維持療法の適正評価	吉原史樹	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医長	1,050 千円 助成終了
10 心房細動を合併する僧帽弁弁膜症患者に対する低侵襲手術の臨床試験	小林順二郎	国立循環器病研究センター 副院長	5,300 千円 H28 終了予定
11 大動脈手術に関する感染症の検討	湊谷謙司	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門血管外科 部長	2,000 千円 H28 終了予定

(多施設共同研究) 8 課題

研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成交付額
12 電子血圧計を用いた客観的な高血圧治療に関する研究 (HOMED-BP)	今井 潤	東北大学大学院薬学研究科 医薬開発構想寄附講座 教授	300 千円 H28 終了予定
13 虚血性心疾患における心電図同期 SPECT (OGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究 (J-ACCESS)	西村恒彦	京都府立医科大学 特任 (名誉) 教授	25,556 千円 H28 終了予定

14	本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究 (MAGIC 研究) - 心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として -	池田康夫	早稲田大学理工学術院 先進理工学部生命医科学科 教授	4,000 千円 H28 終了予定
15	急性脳血管症候群登録観察研究 (ACVS registry Study)	内山真一郎	山王病院・山王メディカルセンター 脳血管センター長	15,959 千円 H28 終了予定
16	急性期脳出血への降圧を検討する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化臨床試験 (ATACH-II)	豊田一則	国立循環器病研究センター 脳血管部門脳血管内科 部長	54,985 千円 H28 終了予定
17	様々な心血管疾患における酸化ストレスの関与に関する基礎および包括的大規模臨床検討	小川久雄	一般財団法人熊本循環器学会 理事長	3,000 千円 H28 終了予定
18	アログリブチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPEAD-A)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	4,510 千円 H33 終了予定
19	シタグリブチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPIKE study)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	3,710 千円 H34 終了予定

3. 受託契約研究助成

(279,698 千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成交付額
1	アジア人における慢性心不全患者の心臓突然死発生率および危険因子に関する疫学的臨床研究 (ASIAN-HF)	清水 渉	日本医科大学 内科学 主任教授	7,022 千円 H30 終了予定
2	脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板併用療法の有効性及び安全性の検討 (CSPS.com)	山口武典	国立循環器病研究センター 名誉総長	145,804 千円 H30 終了予定
3	非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/TIA におけるリバーロキサバンの投与開始時期に関する観察研究 (RELAXED)	峰松一夫	循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員会・選考委員/国立循環器病研究センター・副院長	124,871 千円 H29 終了予定
4	定量 SPECT 機能画像計算パッケージの一般病院への提供支援	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	2,000 千円 H30 終了予定

4. 研究者・研修者助成

(442 千円)

(1) 国際協同研究等派遣助成

(442 千円)

	派遣先等	派遣者	所属機関・職名	助成交付額
1	派遣先: 6 th biennial Meeting of the Association for European Cardiovascular Pathology (パリ) 派遣期間: 平成 26 年 10 月 8 日~10 月 11 日 (3 日間) 研究発表内容: Early Screening for Antibody-mediated Rejection in Heart Transplant Recipients	佐藤琢真	国立循環器病研究センター 移植部 医師	442 千円

【2】普及支援事業

(20,873 千円)

1. 研究成果発表

(1,682 千円)

(1) 研究業績集の発行

(132 千円)

前年度の指定研究助成および循環器疾患看護研究助成による研究成果をまとめて大学・研究所等へ配布

(2) 研究発表会の開催

(1,549 千円)

研究発表会を開催し、前年度の公募研究助成 (バイエル循環器病研究助成・循環器疾患看護研究助成・日本光電循環器病研究助成) の研究成果を発表

	内 容	内 容	助成金額
1	バイエル循環器病研究助成研究発表会	・テーマ: 日本人の血栓・塞栓の特異性 ・会場: 第 62 回日本心臓病学会学術集会 (仙台国際センター) ・日時: 平成 26 年 9 月 28 日 (日) 13:30~15:00	1,373 千円
2	・循環器疾患看護研究助成 (第 11 回) ・日本光電循環器病研究助成 (第 3 回)	・会場: 国立循環器病研究センター・図書館講堂 ・日時: 平成 26 年 12 月 11 日 (木) 15:00~18:00 ・特別講演: 『未知のペプチドへの挑戦』 ~ホルモンハンターが次に狙う 未知なる物質~ 【講師】寒川賢治 (国立循環器病研究センター研究所長)	176 千円

2. 学術活動支援

(10,675千円)

循環器病に関する小規模研究、セミナー等に対する支援

(小規模研究)

(10,675千円)

	研究課題	研究代表者	所属・職名	助成交付額
1	エゼチミブの家族性高コレステロール血症に及ぼす有用性の検討に関する研究	斯波真理子	国立循環器病研究センター研究所病態代謝部 部長	700千円
2	中心血圧に関する追跡調査	河野雄平	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 部長	950千円
3	高血圧患者におけるアンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)の尿酸排泄増加作用をたんに血管内皮機能に関する比較・検討	河野雄平	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 部長	950千円
4	治療低抗性高血圧に対する効果的な降圧薬の併用に関する研究	河野雄平	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 部長	950千円
5	心機能解析ソフトウェア「Heart Function View」の解析精度とその臨床的有用性の検討	木曾啓祐	国立循環器病研究センター 放射線部 医長	950千円
6	高血圧治療におけるレザルタスの有効性に関する研究	岩嶋義雄	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医長	950千円
7	高血圧治療におけるイルベサルタンを基軸とした降圧薬の併用療法に関する研究	岩嶋義雄	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医長	950千円
8	生活習慣病、高血圧治療におけるオルメサルタンの有効性に関する研究	林 真一郎	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医師	475千円
9	慢性腎臓病患者での糖尿病管理の実態と薬物療法の有用性について	中村敏子	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医長	475千円
10	急性期脳出血への降圧療法に関する研究	山上 宏	国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長	475千円
11	急性心筋梗塞における急性期高血糖と慢性腎臓病の院内予防及び長期予後に及ぼす影響に関する研究	野口輝夫	国立循環器病研究センター 心臓血管内科 部長	950千円
12	心房細動と心原性塞栓症に対する薬物・非薬物療法の包括的治療戦略の検討	草野研吾	国立循環器病研究センター 心臓血管内科不整脈科 部長	950千円
13	起立負荷時心拍変動解析による自律神経機能と冠動脈疾患の相関解析	玉那覇民子	国立循環器病研究センター 糖尿病代謝内科 医員	475千円
14	不整脈疾患でのカテーテル治療およびデバイス治療の有用性と合併症に関する研究	野田 崇	国立循環器病研究センター 心臓血管内科不整脈科 医長	475千円

3. 移植医療支援等事業

(301千円)

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援 (アグネス基金)

	内 容	助成交付額
1	第12回心臓移植患者連絡会 (CoCoRo会) ・会 長： 国立循環器病研究センター・理事長 橋本信夫 ・会 期： 平成26年11月1日(土) ・会 場： 国立循環器病研究センター	301千円

4. 予防啓発活動

(8,216千円)

(1) 小冊子

(7,699千円)

『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行

循環器病予防啓発の小冊子を奇数月にそれぞれ1万部発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布

	タイトル	執 筆 者	発 行 日
104	心筋症といわれたら	安斉俊久 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 部長	平成26年5月1日
105	歯周病と循環器病	山田 聡 国立循環器病研究センター歯周病外来/ 大阪大学歯学部附属病院口腔治療・歯周 科 歯科医師	平成26年7月1日
106	糖尿病は怖い?—循環器病とのかかわり—	宮本恵宏 国立循環器病研究センター 予防健診部 部長	平成26年9月1日

107	認知症とたたかう	猪原匡史	国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長	平成26年11月1日
108	心臓移植と人工心臓の今	中谷武嗣	国立循環器病研究センター 移植部/臨床栄養部 部長	平成27年1月1日
109	“攻めの予防”－循環器ドックの話	宮本恵宏 内藤博昭	国立循環器病研究センター予防健診部長 /国立循環器病研究センター・病院長	平成27年3月1日

(2) 機関誌『季報』の発行 (308千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開など

(3) ホームページの運営 (http://www.jcvrf.jp) (209千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募案内など

(4) キャンペーン

阪神甲子園球場のオーロラビジョン、ライナービジョンで財団のPRと予防啓発を行う。

(5) 共催・後援名義使用

(共催)

	催し物	主催者	日時・場所
1	・第17回脳卒中市民シンポジウム ・平成26年度脳卒中週間ポスター	公益社団法人日本脳卒中協会 理事長 山口武典	平成26年5月31日(土) 栗東芸術文化会館SAKIRA
2	平成26年度第1回健康講演会 「生活習慣病予防のための正しい知識と運動療法」	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長 宮本恵宏	平成26年9月27日(土) 国立循環器病研究センター講堂
3	合同健康歩こう会 「健康づくりのための運動の実践」	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長 宮本恵宏	平成26年10月26日(日) 万博公演内・現代美術の森

(後援)

	催し物	主催者	日時・場所
1	エコー淡路2014	エコー淡路2014 代表 松尾 汎・佐田政隆	平成26年11月8日(土)～11月9日(日) 兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
2	第10回国循市民公開講座 『心臓発作で困らないために』	国立循環器病研究センター 理事長 橋本信夫	平成26年9月6日(土) グランフロント大阪 コングレコンベンションセンター
3	第11回国循市民公開講座 『循環器病予防の啓発のために』	国立循環器病研究センター 理事長 橋本信夫	平成27年2月28日(土) メルパルク大阪
4	2015東日本復興支援チャリティー講演会&パ ザー「脳卒中は防げる、治せる」	国際ソロプチミスト大阪一北 会長 深井喜美子 実行委員長 対馬信子	平成27年3月4日(水) 千里阪急ホテル

【3】国庫補助金事業（特別会計Ⅰ）（厚生労働科学研究推進事業費） (10,730千円)

1. 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策政策研究推進事業 (7,830千円)

	事業区分	予算額	積算内訳
1	若手研究者育成活用事業	3,390千円	リサーチレジデント1名
2	研究成果等普及啓発事業	4,440千円	・一般向け研究発表会(3件) ・研究者向け発表会2日間(60課題)

2. 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究推進事業 (2,900千円)

	事業区分	予算額	積算内訳
1	研究成果等普及啓発事業	2,900千円	研究者向け発表会

【4】調査研究事業 (3,568千円)

(未成調査研究事業支出金)

	研究課題	研究代表者	所属・職名	支出額
1	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者における リバーロキサパン単剤療法に関する臨床研究(AFIRE)	小川久雄	公益財団法人循環器病研究振興財団研 究・技術開発助成選考委員/国立循環器 病研究センター副院長	(新規) 3,568千円 H30終了予定

平成26年度 事業活動の概要

1. 助成事業

循環器病に関する医学研究及び看護研究等に対して研究を助成するものです。研究助成事業には、

- (1) 公募研究助成
 - ① バイエル循環器病研究助成
 - ② 循環器疾患看護研究助成
 - ③ 日本光電循環器病研究助成
 - ④ 公募自由課題研究助成
- (2) 指定研究助成
 - ① 個別研究
 - ② 多施設共同研究
- (3) 研究・研修者助成
 - ① 国内外研修者助成
 - ② 国際協同研究者助成



の区分があります。研究終了後には、研究結果発表会の開催及び研究業績集の発行など、循環器病に関する基礎的・臨床的研究の発展に寄与するものです。

2. 普及支援事業

循環器病に関する研究の成果、循環器病に関する情報、循環器病の予防・治療など最新情報を広く一般に公開しており、

- ① 研究業績集発行及び研究成果発表会
- ② 学術活動支援
- ③ 移植医療支援
- ④ 予防啓発と普及
- ⑤ 機関誌の発行及びホームページサービスを行っています。



循環器疾患看護研究助成研究発表会
日本光電循環器病研究助成研究発表会

バイエル循環器病研究助成研究発表会



予防啓発キャンペーン（阪神甲子園球場）



3. 国庫補助金事業

厚生労働科学研究費の「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究推進事業」を担当しており、

- ①若手研究者育成活用
 - ②研究成果等普及啓発事業
- 等を行っています。



研究者向け研究発表会

循環器病制圧キャンペーン 第28回循環器病チャリティーゴルフ

■ゴルフ大会

去る10月3日(土)、兵庫県西宮市のよみうりカントリークラブにおいて恒例の循環器病チャリティーゴルフが開催されました。この大会は読売グループ4社の主催並びに厚生労働省をはじめ近畿圏の各自治体、各医師会の後援により行われ、今年で28回目を迎えました。今年も36社からご協賛頂き、155名の参加者が日頃ご自慢の腕を競われました。



■講演会・表彰式・基金贈呈式

10月5日(月)、ホテルニューオータニ大阪において記念講演会・表彰式・基金贈呈式が行われました。記念講演会では、「やさしいコレステロールのお話」と題して、国立循環器病研究センター研究所・病態代謝部長の斯波真理子先生にご講演(要旨は次ページ)頂きました。引き続き、ゴルフ大会の表彰式が行われ、個人賞及び団体賞などの表彰がありました。

最後に、望月規夫・循環器病チャリティーゴルフ運営委員会委員長(読売テレビ代表取締役社長)より山口武典理事長にチャリティー基金の贈呈があり、1032万円をご寄付頂きました。続いて、川島康生顧問から望月規夫・読売テレビ代表取締役社長に厚生労働大臣感謝状を授与させて頂きました。

財団ではこの基金をもとに、研究助成や予防啓発パンフレットの発刊など、循環器病征圧のための諸事業に役立てさせて頂いています。関係各位の温かいご厚志に心より謝意を申し上げます。



第28回循環器病チャリティーゴルフ記念講演会（要旨）



『やさしいコレステロールのお話』

国立研究開発法人国立循環器病研究センター研究所
病態代謝部 部長 斯波真理子

1. 身体の中の脂質のお話—燃える脂質と燃えない脂質—

身体の中には脂質があります。血液にも存在する重要なものとしては、トリグリセリド（中性脂肪）とコレステロールがあります。

トリグリセリドは、身体の脂肪組織に皮下脂肪あるいは内臓脂肪としてストックされ、エネルギー源として燃焼される脂肪です。従って、トリグリセリドは可燃ゴミ、食事や運動で燃やして減らすことができます。

コレステロールは、①細胞膜を補強する成分として、②男性ホルモンや女性ホルモン、副腎皮質ホルモンなどの、ステロイドホルモンを合成する原料として、③消化吸収に必要な胆汁酸の原料として、存在します。コレステロールは、身体の中で重要な働きがあり、主に肝臓で合成されます。

トリグリセリドやコレステロールなどの脂質は、水には溶けません。血液を介して運ぶためには、蛋白質と結合して、リポタンパクという形をとります。このリポタンパクは、密度、大きさに応じて、VLDL、LDL、HDL があります（図1）。LDL が悪玉と呼ばれるリポタンパク、HDL が善玉と呼ばれるリポタンパクです。

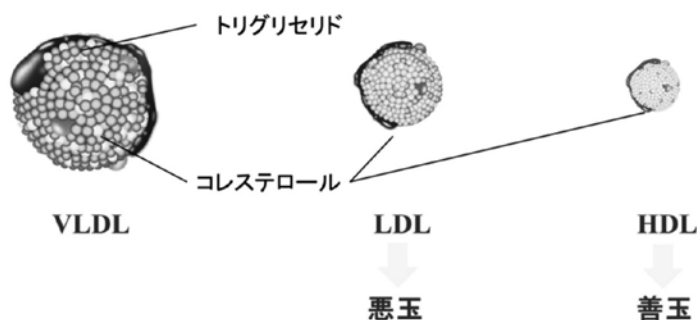


図1. リポタンパクの種類

リポタンパクの代謝を図2に示します。コレステロールは小腸で吸収され、肝臓に運ばれます。コレステロールはまた、肝臓でも合成され、悪玉コレステロールである LDL コレステロールとして末梢組織に運ばれます。一方、末梢組織で不要になったコレステロールは、HDL コレステロールとして回収され、肝臓で胆汁として排泄されます。コレステロールを体外に排泄できるのは、この経路のみです。トリグリセリドと異なり、コレステロールはエネルギーにはなりません。つまり、コレステロールは燃えません。不燃ゴミと言えます。

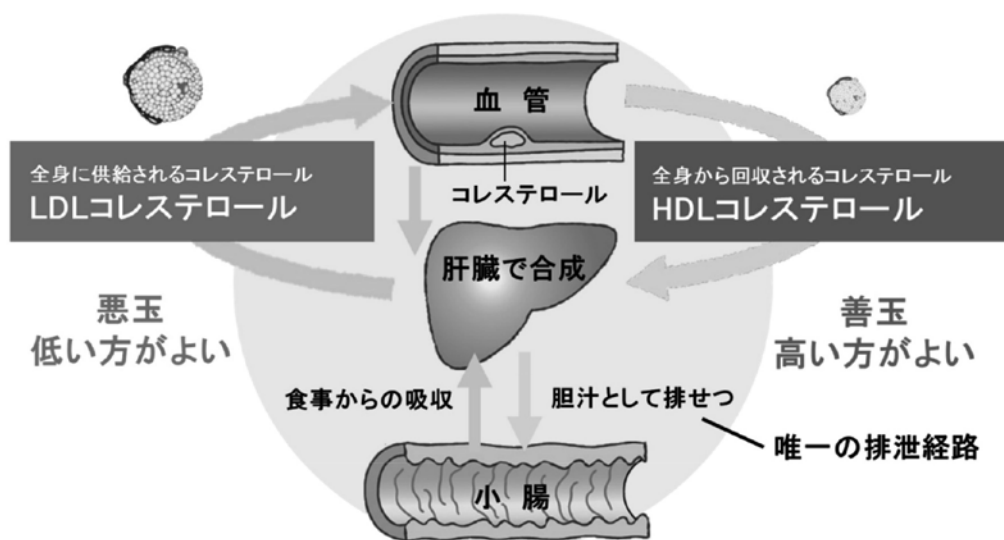


図2. リポタンパクの代謝

2. コレステロールと動脈硬化

血中の LDL コレステロールが高い場合、HDL コレステロールが低い場合、トリグリセリドが高い場合に、動脈硬化が起こりやすい状態になります。それぞれの基準値を表1に示します。動脈硬化とは、動脈にコレステロールが溜まって細くなり、血液が十分に臓器に送ることができない状態を指します。心臓を養う動脈が詰まってしまうことを心筋梗塞、脳を養う動脈が詰まってしまうことを脳梗塞と呼びます。

LDLコレステロール	140 mg/dL 以上
HDLコレステロール	40 mg/dL 未満
トリグリセリド	150 mg/dL 以上

表1. 高脂血症の基準値

3. コレステロールを下げ、動脈硬化を予防しよう

コレステロールは不燃物です。不燃物には、捨て方があります。悪玉であるLDL コレステロールを下げ、善玉であるHDL コレステロールを上げるには、以下の方法があります。まずは食事療法、運動療法、それでもLDL コレステロールが十分に低下しない場合には薬物療法を行います。

①食事療法	食事の脂質を減らすことにより、小腸でのコレステロールの吸収を抑えます。また、野菜を沢山摂ることにより、食物中の脂質を体外に多く排泄できます。食事のエネルギーを減らすことにより、肝臓でのコレステロールの合成を減らすことができます。野菜、海藻、きのこ類、豆類などを、十分に摂りましょう。
②運動療法	運動をすることにより、善玉であるHDL コレステロールを上昇させることができます。1日30分～60分、1週間に3回以上、1週間合計180分以上、歩くなどの軽い運動をしましょう。休みの日だけ長時間、激しい運動をするよりも、効果があります。また、食事療法と運動療法を組み合わせることにより、より大きい効果が得られます。余分な体重を減らすことにより、肝臓でのコレステロールの合成も減らすことができます。
③薬物療法	小腸からのコレステロール吸収を阻害する薬として、エゼチミブ、肝臓でのコレステロール合成を阻害する薬として HMGCoA 還元酵素阻害薬（スタチン）、胆汁としてコレステロールを排泄する薬として、陰イオン交換樹脂などが用いられます。現在、LDL コレステロールを低下する薬剤としては、スタチンが一番多く使用されています。

4. コレステロールに関わる遺伝のお話

遺伝的にコレステロールが高くなる病気があります。家族性高コレステロール血症という病気です。

- ① 若い時から高コレステロール血症
- ② アキレス腱が厚い（図3）
- ③ 家族に高コレステロール血症や心筋梗塞の人がいる

などの特徴があります。

家族性高コレステロール血症の患者さんは、若い時から LDL コレステロールが高いため、動脈硬化の進行が速く、心筋梗塞や狭心症を起こしてくる人が多いです。このような病気の患者さんは、なるべく早く診断を受けて、速やかに治療を受ける必要があります。（おわり）

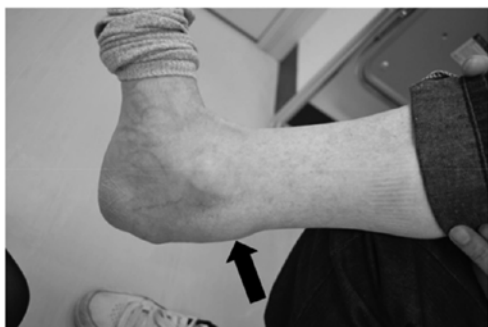


図3. 家族性高コレステロール血症の患者さんの厚いアキレス

最新号 知っておきたい 循環器病あれこれ

号	タイトル	執筆者		発行日
108	心臓移植と人工心臓の今	中谷武嗣	国立循環器病研究センター 移植部長/臨床栄養部長	平成27年1月1日
109	“攻めの予防”-循環器ドックの話	宮本恵宏 内藤博昭	国立循環器病研究センター・予防健診部長 国立循環器病研究センター・病院長	平成27年3月1日
110	食塩と高血圧と循環器病	河野雄平	帝京大学福岡医療技術学部医療技術学科長(国立 循環器病研究センター高血圧・腎臓科元部長)	平成27年5月1日
111	心房細動といわれたら -その原因と最新の治療法-	鎌倉史郎 鎌倉 令	国立循環器病研究センター・臨床検査部長 国立循環器病研究センター・不整脈科医師	平成27年7月1日
112	脳卒中の言語リハビリテーション -家庭で効果を上げるには-	大島明子	国立循環器病研究センター 脳卒中リハビリテーション科・主任言語聴覚士	平成27年9月1日
113	弁膜症外科治療の最前線	藤田知之 小林順二郎	国立循環器病研究センター・心臓外科部長 国立循環器病研究センター・副院長	平成27年11月1日

公益財団法人循環器病研究振興財団へのご寄付

平成26年11月から平成27年10月末までにご寄付を頂いた方々のご芳名を記し、心より厚く御礼申し上げますとともに、今後ともご支援のほどお願いいたします。

大窪天三幸 様/新保誠敬 様/小林一雄 様/乳井裕子 様/
岡田重徳 様/江津国一 様/高松孝之 様/環産業株式会社 様

※公表についてご承諾頂いた方のみ掲載させて頂いております。



かざして募金

「かざして募金」はソフトバンク(株)が提供するスマートフォンから簡単な操作でご寄付いただけるサービスで、当財団は今年の8月より本サービスの利用を開始いたしました。

【ご利用方法】

「かざして募金」のアプリをインストール、起動後、本季報の表紙を撮影(画面をタップ)して頂くと寄付画面に移行しますので、ご寄付額を選択してください。ご寄付額は、携帯電話の料金と一緒に支払います。また、下記QRコードを読み取って頂くと、アプリのインストールをすることなく寄付画面にお進み頂けます。

※Softbank スマートフォン以外の方は、クレジット決済となります。

※1,000円以上のご寄付については、領収書の発行にも対応させていただきます。希望される場合は、ご寄付のお申込み後、「団体からの領収書を希望する」ボタンを押し、お手続きください。



SoftBankのスマートフォン



SoftBank以外のスマートフォン



公益財団法人
循環器病研究振興財団
JCRF Japan Cardiovascular Research Foundation

〒565-8565 大阪府吹田市藤白台5丁目7番1号
(国立研究開発法人国立循環器病研究センター内)
TEL 06-6872-0010 FAX 06-6872-0009
<http://www.jcvrf.jp/>

【本季報は、当財団ホームページからもダウンロードしてご覧頂くことができます。】